

# 吉田方小学校の ESD 活動

## <活動の概要>

当校は、「地域を知り、親しみ、守る」を活動テーマとして、ESDを未来へつなぐ学びと捉え、ESDの実践を通して地域とともに生きる力の育成を目標とした。具体的には、「知る」「親しむ」「守る」を柱に、地域、健康、防災などに関わる学習を行った。

### ① 地域に関わる活動（2年）

2年生は、生活科「とび出せ！町のたんけんたい」で、校区探検に出かけた。ふだん通っている吉田方校区の中にも、今まで自分が気づかなかった施設や建物があることを発見した。【いろんなお店があるだね】  
さまざまな場所や建物、店があることによってどれほど生活が便利なものになるのかに気づき、校区のよさや特徴を実感することができた。見つけた場所について「何をするとところだろう」「どんな仕事をしているのだろう」と興味をもち、自分たちの住む吉田方の校区への関心が高まった。



### ② 健康・安全に関わる教育（1年）

吉田方小学校は運動場が広く、子どもたちは休み時間に外で遊ぶことを楽しみにしている。しかし、廊下やコンクリートの上を走ることで、【前を見ないと危険だな】  
休み時間に起こるけがが多い。そのため、1年生は、安全に関する学級活動を行った。どうしたら、けがをせずに生活できるのかを話し合った。さらに、身体測定時の保健指導において、けがの防止について学び、けがを減らすために自分ができることを考えた。また、けがと生活習慣とのつながりについても学び、これから安全に生活しようという気持ちを強くもつことができた。



### ③ 食育に関わる教育（3年）

3年生は理科の学習で大豆を育てた。そこで、総合的な学習の時間では、大豆の栄養や大豆から作られる食品について、タブレット端末や図書資料で調べたり、栄養教諭の話を聞いたりした。また、収穫した大豆を使い、自分たちの手で豆腐を一から作ることもできた。社会科では、ちくわ工場について学習した。なぜ豊橋でちくわの生産が始まったのか、ちくわがどのように作られるかをタブレット端末で調べたあと、実際にちくわ職人を招いてちくわ作りを体験した。食物を育て、作って、食べるという実践的な活動を行うことで、食への興味・関心を高めることができた。【おいしくできたかな】



### ④ 防災に関わる教育（4年）

4年生は、総合的な学習の時間「わたしたちの防災」で、中学1年生と地域の防災について交流会を行った。中学生が調べてきたことをもとに、グループごとに発表を聞き、質問をしたり、意見を述べたりした。また、出前授業「災害時のトイレの使い方を知ろう」では、講師のかたを招き、水が流せないときのトイレの使い方を学んだ。その他、校内の災害の備えを見学するなどさまざまなかたちで防災について学び、最後に新聞にまとめた。新聞を紹介し合うことで、自分たちの命は自分たちで守ろうという意識を高めることができた。【ビニール袋の角を持って入れるんだ】

